（各課様式１）

予　算　要　求　資　料

令和４年度当初予算　　支出科目　款：総務費　項：企画開発費　目：企画調査費

事業名　図書資料費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部　図書館　管理調整係　電話番号：058-275-5111（内 291）
E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

１　事業費事業費　　70,000 千円（前年度予算額：72,500 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
前年度	72,500	0	0	0	0	0	4	0	72,496
要求額	70,000	0	0	0	0	0	5	0	69,995
決定額	62,000	0	0	0	0	0	5	0	61,995

２　要求内容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県図書館の運営方針「資料の収集・保存」「県内市町村図書館等への支援」に基づき、課題解決型の図書館を目指すとともに、公共図書館との役割分担を明確にし、収集方針に沿って厳選した資料収集を行っている。

「バリアフリー・コーナー」(令和２年度新設)資料については、継続して資料の充実を図る。

（２）事業内容

岐阜県図書館は、県下の公共図書館の中核拠点及び情報の中核拠点として、県民文化の向上に寄与することを使命として取り組んでいる。

長期的な利用動向、蔵書のバランス、レファレンスでの利用価値を考え、中立・公平性にも重きを置き、資料収集を行う。

ア　図書購入費　（本館図書、読書活動推進支援図書、地図資料等）
イ　ＡＶ関係資料費　（ＤＶＤ、ＣＤ、障がい者用録音図書等）
ウ　逐次刊行物資料費　（雑誌、新聞、加除式資料追録等）
エ　データベース活用費　（図書マーク、日経テレコン２１等）

オ　資料保存整備費　（図書資料装備、図書資料用印刷等）

◆「主体的・能動的な課題解決支援」に取り組むため、基本的な資料整備に加え、以下の各分野に関して重点的に資料整備を行う。

Ａ　障がい者（児）・高齢福祉・特別支援教育等への支援
Ｂ　健康・医療分野への支援
Ｃ　ビジネス支援・法律情報の提供
Ｄ　ぎふ清流の国文庫・木育
Ｅ　海外情報コーナー

（３）県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

（４）類似事業の有無

無

３　事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	資料保存整備費
旅費	10	資料保存整備費
需用費	12,949	逐次刊行物資料費、資料保存整備費
役務費	0	通信運搬費
委託料	605	資料保存整備費(燻蒸)
使用料及び賃借料	8,049	データベース活用費
備品購入費	48,345	図書資料費、ＡＶ関係資料費、資料保存整備費
合計	70,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

４　参考事項

（１）後年度の財政負担

年々多様化、高度化する利用者の要求に応えるため、常に新鮮で多様な資料を揃えている必要がある。

また、地域の情報の中核拠点として、あらゆる県民の期待に応えられるよう今後も資料の充実に努めていく必要がある。

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□	新規要求事業
■	継続要求事業

1　事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県図書館は、県民の知的要求に応えるため、資料・情報の提供を責務としている。そのために、県内市町村図書館等との役割分担を考えながら、継続的に資料・情報を収集し、整理して、利用に供していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（H5 ）	R2 年度実績	R3 年度目標	R4 年度目標	終期目標（R6）	達成率
貸出冊数	30,349	282,416	300,00	400,000	500,000	56.5%

〇指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 ＜資料購入実績（令和３年３月末）＞ 〇図書：11,775 冊 〇逐次刊行物　雑誌：357 種、新聞：37 種、加除式資料追録：6 種 ＜利用実績（令和３年３月末）＞ 来館者数：234,612 人　貸出冊数：282,416 冊 レファレンス（調査相談）件数：7,487 件

２　事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している　２：横ばい　１：減少している　０：ほとんどない	
（評価） ２	県民の知的要求に応える施設として、幅広い資料収集を行う必要がある。また、県内市町村図書館等を支援する図書館として、それぞれの図書館では収集しにくい資料も集め、ネットワークを通じて提供していく責務をおっており、事業の必要性は高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価） ２	年間個人貸出冊数 282 千冊（令和２年度実績）であり、全国的にも利用が多い（全国都道府県立図書館平成元年度実績第 15　位）。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている　１：横ばい　０：下がっている	
（評価） １	年間個人貸出冊数 282 千冊（令和２年度実績）であり、全国的にも利用が多い（全国都道府県立図書館平成元年度実績第 15 位）。市町図書館との連携により収集対象資料を分担し、県全体として資料の質的・量的充実と予算の有効活用を図っている。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 課題解決型図書館として資料の専門性をどのように評価することができるか、県民への広報のあり方を含め、検討する必要がある

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県図書館の運営方針に基づいて、県内市町村図書館等との役割分担を考慮に入れつつ、専門性の高いもの、特色ある資料を中心に収集する。 また、資料収集方針について、県民の理解を求めていく。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果　など	